

まつり



メインイベント「マスつかみ」



第7回
中部支部労福協
まつり

恒例のマスつかみ大会! 今年も盛大に開催しました!!



大きな魚を
つかまえたヨ!



8月28日(日)、関金滝川親水公園において第7回中部支部労福協
まつりを開催しました。

当日の受付開始前から続々と来場者が集まり、開祭前からとても賑やかな雰囲気に包まれました。恒例の「○×クイズ大会」では、労福協に関するものをはじめとして、ワークライフバランスに関するクイズも出題され、会場は盛り上りました。続いて、本まつりのメインイベントである「マスつかみ」が行われ、なかなかうまくつかみ取れない中、物怖じしないで果敢にマスにアタックする子どもたちの姿た。たくさんの方々にご来場いただき、労福協まつりが地域の方々にとて夏の風物詩の1ページとなっていることを実感しています。

労福協中部支部 事務局

●●●●第272号 もくじ●●●●

第7回マスつかみ大会開催	1
2011年度全国研究集会	2
全県研修会・スポーツ祭典開催について	3
労金総会・全労済・県生協・医療生協総代会	4~5
みなくるからのお知らせ	6
産業カウンセラーカフェ相談会	6
勤労者美術展開催のお知らせ	7
全労済支援活動の取組について	8

2011年度 全国研究集会

●2011年6月9日(木)~10日(金) ●新宿ワシントンホテル

テーマ 復興・再生に向け
労働組合・協同組合に出来る役割を考える。

2011年度中央労福協「全国研究集会」が、6/9・10日、240名の参加のもとに、東日本大震災の『復興・再生に向け労働組合・協同組合に出来る役割を考える』をテーマに東京で開催されました。



生協連 芳賀専務

開会にあたり、北部ブロック影山会長（福島県）より全国からの支援のお礼と現状を紹介する挨拶がありました。日程の中で、日本生協連、全労済、労協連、労金協会の構成団体やNPO、フードバンク活動を行なう関係団体から大震災に対する取り組みや、千葉県野田市の避難被災者への支援対応などについての特別報告。連合からは災害復興・再生にむけた連合政策が報告されました。

基調講演の立教大学の内山教授（哲学）からは、「大震災で連鎖崩壊した巨大システム依存型社会の危うさと、「絆」を大切にする日本の伝統的社会感の大切さ、他者に犠牲を求める市場原理主義の危険性が指摘されました。最後に、中央労福協の高橋事務局長が●直線型社会から循環型社会への再考が必要であること。●地元機能の復権などを学び、労働組合や協同組合がその担い手になろうと結びました。



遠藤副会長 挨拶

「第5期 労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」に参加して 鳥取県労働者福祉協議会 東部支部 支部長 森脇一也

6月22日～24日の間、福岡県北九州市で開催された「第5期 労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」に鳥取県から6名が参加しました。労働運動・労働者福祉運動の理念や歴史、労働組合と生協活動との関わりなど「創業の初心」を理解し、これから地域展開に向け、これら運動の伝承者となるリーダーの育成を目的に開催されました。

講義内容は労働者福祉運動の『理念と歴史』に始まり、『日本社会と協同組織事業に期待するところ』、『課題と方向性』、『地域に果たすべき役割』、『NPO/NGOとの連帯と協働』と続き、『政策提言活動』、『労金・労済活動の推進』という内容でした。

特に『日本社会と協同組織事業に期待するところ』では早稲田大学の田村教授に講演いただき、自分達（労福協内部の人間）とは違う視点から労福協活動の必要性を説かれ、労働者福祉運動の必要性を再認識しました。

講義内容も多岐に渡り難しい内容もありましたが、自分達で出来ている少しの部分と、これから取

り組む必要のある多くの部分が認識できましたので、今後の労福協活動に活かしていきたいと思います。また、今回は東日本と西日本の2会場での開催でしたが、費用の増大から参加人数が限定されてしまう側面もあり、西部労福協等のブロック単位での開催にして、より多くの役員が参加することが望ましいと感じました。



鳥取県労福協

2011年度

第1回全県研修会

日 時 2011年7月23日(土) 13時30分~

場 所 倉吉市山根「倉吉シティホテル」2Fレニー

テー マ 『「災害に備える地域の力を育むために』について』

講 師 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦さん

2011年度第1回の研修会は東日本大震災でも被災地支援の大きな力となったボランティア活動を取り上げ、地域の活動と連動した『災害に備える地域の力を育むために』と題し、「日野ボランティア・ネットワーク」事務局の山下弘彦さんに講演いただきました。

講師の山下さんは、一人旅の途中で2000年10月の鳥取県西部地震に遭遇し、日野町での災害ボランティアに参加後、「震災を契機に育ったボランティアの心を住みよい地域づくりに生かそう」と「日野ボランティア・ネットワーク」を結成され活動中です。

講演では、その豊かな経験をもとに、東日本大震災現地の様子を紹介しつつ、長期に及ぶ被災者は個別の課題を抱えており、それに対応できる日常の地域コミュニティーが大切であることや、誰もが気軽に「支え・支えられる」関係づくり、自分も何かがしたいという意識づくりの場の提供など、被災地ボランティア経験から学んだ「地域力を高めることの必要性」などの話を展開されました。

参加者は、「地域社会との結びつきの必要性は、助け合いの労福協活動とも通じるものがある」との思いで聴講しました。(事務局:通信)



第48回

鳥取県労働者スポーツ祭典を開催します!

開催日

2011年10月2日(日)

※雨天の場合 10月22日(土) 【屋外競技のみ】

総合開会式 (1)総合開会式「気高町勤労者体育センター」午前9時より(競技会場:バレーボール会場)

並びに開始式 (2)開始式(各競技会場※1で行います。)

参加資格 各地区大会で出場権を獲得したチーム。

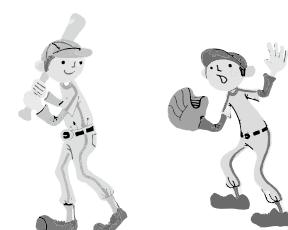
県内勤労者の団体(労働組合・企業単位及び事業団体等)で、アマチュアの方。

また、地区大会(予選)出場メンバーでの参加とし、組合員50人以下で参加する場合は、産別で参加することができます。

競技種目(出場枠)および会場

競技種目	出場枠(チーム数)			開催日(予備日)		開始式(時間)	競技会場※1	
	東部	中部	西部					
軟式野球	2	1	1	10/2 (10/22)	日 土	8:30	気高町運動広場野球	
							コカ・コーラウエストパーク野球場	
ソフトボール	2	1	1	10/2 (10/22)	日 土	9:00	鹿野町運動広場 ソフトボール場	
バレー	男子	4	2	2	10/2	日	9:00	気高町勤労者体育センター
	女子	4	2	2				
バドミントン	4	2	2	10/2	日	9:00	気高町体育館	
卓球	4	2	2	10/2	日	9:00	気高町体育館	
ボウリング	6	3	3	10/2	日	10:00	倉吉プラザボウル	
グラウンドゴルフ	4	2	2	10/2 (10/22)	日 土	10:00	白兎グラウンドゴルフ場	
フットサル	2	2	2	10/2	日	9:00	鳥取県立障害者体育センター	

※今年度より、フットサル(エキシビション)を新しく競技種目に加えました。



お問い合わせ

鳥取県労働者福祉協議会
〒680-0847

鳥取市天神町30-5
TEL(0857)27-4188
ホームページ

鳥取県労福協 検索

大会要綱・申込書がダウンロードできます。

通常総会・総代会

中国労働金庫

第8回通常総会

とき:2011年6月24日(金)

ところ:リーガロイヤルホテル広島



鳥取県本部長(常勤理事)に 福田光明氏が就任

鳥取県内関係者では安長章県営業本部長(常勤理事)が退任され、福田光明氏(鳥取三洋電機労働組合)が常勤理事に就任し、小椋昌美氏(日庄スーパー・テクノロジーズ労働組合)が理事に再任されました。



福田鳥取県営業本部長

当日は、出席代議員211会員、委任会員2560会員で開催されました。

金尾理事長が挨拶の中で、2010年度の決算状況に触れ、預金・融資について増加計画を達成、その他経営指標についても達成し、税引前利益40億円を計上できることに対して、会員および関係者に感謝を述べました。

また、日本労金設立の取組みに触れ、2009年6月総会において「合併準備委員会」への参画を承認いただき進めてきた全国合併について、昨年10月段階で示された監督官庁(金融庁・厚生労働省)の現行法制度での全国合併は協同組織金融法制の想定していない構造であり法改正が必要だとの見解を受け、次世代システム稼動時期・当局の対応余地等を考慮して、最終的に合併延期・継続協議の扱いとせざるを得ない結果となつたことに対して陳謝しました。ただ、この間の一連の作業は無駄なものではなく、各金庫とも経営戦略や課題についての整理が進み、今後の課題解決の方向性が確認できたことは成果であり、2012年度からの第4期中期経営計画に活かせるものであるため、今年度は中期経営計画策定のために課題整理をしていく旨を述べました。

鳥取県共済生協
全労済鳥取県本部

第59回通常総代会 第2回代表者会議

とき:2011年7月29日(金)

ところ:全労済鳥取県本部5階大ホール



新役員体制

小東 照久(運輸労連)
中野 敦(全労済)
西川 光治(UIゼンセン同盟)
本川 博孝(自治労)
奥田 剛(私鉄総連) 新任
春木 正浩(紙パ連合) 新任
盛山 敦史(フード連合) 新任
山口 一樹(自治労)

竹内 克徳(電機連合)

本岡 厚志(情報労連)
山口 修司(電機連合)
松田 武志(JAM) 新任
森本 貴識(電力総連) 新任
山根 将裕(自治労全国一般) 新任
田中 穂(連合鳥取) 新任
江口 真也(自治労)
湯村 謙二(交通労連) 新任

退任役員

高見 信正(自治労全国一般)
吉田 正(JAM)
山本 芳弘(紙パ連合)
長谷 進(電力総連)
藤本 治雄(交通労連)
辞任役員
小谷 実(私鉄総連)
福田 光明(連合鳥取)

2011年全労済 地域貢献助成事業



総代会に先立ち対象団体となった「サポート永江」への目録贈呈を行いました。

が開催されました

鳥取県生活協同組合

第61回通常総代会



議案書に基づいて6つの議案が提案され、参加総代235名(実出席64名、代理人出席6名、書面出席165名)により採決が行なわれた結果、すべての議案が賛成多数、又は3分の2以上の賛成により可決されました。



松軒理事長挨拶より(抜粋)

今年は来年に予定されている「国際協同組合年」に向けた準備の年として位置づけられています。「協同」することの大切さが国際的にもますます認識されつつある中で、「人と人とのつながり」を組織基本とし、事業を通じてくらしと地域に役立つ生協としてこれまで以上に役割発揮が求められています。今回、東日本一円に未曾有の被害をもたらした大震災への対応に関して、いち早く支援に駆けつけた生協の姿を捉えて「頼もしいプロ集団」としてテレビでも放映されていました。阪神淡路大震災時に「被災地に生協あり」と評価されたことが、今回の震災でも発揮されつつあることを物語っています。本日の総代会が総代皆様による積極的なご参加と活発な意見交流により、くらしと生協の未来を切り開いていく原動力の場となることを祈念し、通常総代会開催にあたってのご挨拶とさせて頂きます。

鳥取医療生活協同組合

第67回通常総代会



来賓はじめ、総代、役職員302名が出席し、提案された2つの報告と7つの議案が圧倒的多数で可決承認されました。

総代会の冒頭、先の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り黙とうをささげました。

山上組合長理事は開会の挨拶で、「東日本大震災で

とき:2011年6月21日(火)

ところ:倉吉未来中心

とき:2011年6月18日(土)

ところ:さざんか会館

第67回通常総代会



被災された方が大変苦労されている。さらに、原発の問題があり、自ら命を絶つ悲惨な状況が起きている。支部・班でも、将来、原発に頼って良いのか論議していただき、復興の為に一緒に協力して頑張っていただきたい」と述べられました。

その後、昨年度活動のまとめと事業報告、今年度活動方針と事業計画等が一括提案されました。

提案された議案は、圧倒的多数で承認可決され、最後に、「創立六〇周年、『歴史から学び、新しい歴史をつくる』決意とスタートの年、東日本大震災の復興支援に全力を尽くすと共に『医・介・食・住』の地域ネットワークづくりに挑戦します」のアピールを満場の拍手で確認しました。

参加
無料

土曜セミナー開催!

労働者の方必見

知っておこう！
今さら聞けない労働法の基礎！ シリーズ①

働くときのルール

労働条件通知書と求人内容
賃金・労働時間・休憩・休日・年休
退職時等に知っておくべきこと など

鳥取	倉吉	米子
10月8日 ㊏	10月1日 ㊏	10月1日 ㊏
鳥取県労働会館 2階会議室	倉吉未来中心 セミナールーム2	米子コンベンション センター第3会議室

時間はいずれも 10:30～12:00

知っていて損はない！
最近の労働トラブル実態！ シリーズ②

職場のトラブルと対処法

解雇・賃金未払い・パワハラ等
労働相談の現状と解決事例
相談・解決機関の紹介 など

鳥取	倉吉	米子
10月15日 ㊏	10月8日 ㊏	10月15日 ㊏
鳥取県立図書館 大研修室	倉吉未来中心 セミナールーム2	米子コンベンション センター第3会議室

時間はいずれも 10:30～12:00

申込・問合せ先 ★当日参加も可能ですが、資料準備のため事前申込をお願いします。

■みなくる鳥取

電話 (0857)25-3000
Fax (0857)25-3001

■みなくる倉吉

電話 (0858)23-6131
Fax (0858)23-2454

■みなくる米子

電話 (0859)31-8785
Fax (0859)21-0034

ホームページでも紹介しておりますので
ご覧ください。

[みなくる通信](#) [検索](#)

産業カウンセラーによる

休日相談会

開催

* 相談無料要予約
当日も受付可能ですが、お待ち
いただく可能性がございます

勤労者およびその家族・知人の方を対象に、

仕事のこと・生活のこと

日頃気になっていること

辛く苦しいこと

引きこもりでお悩みのこと

など…

ゆっくり話してみませんか？

あなたの気持ちを誰かに伝えるだけでも、
ずっとラクになりますよ。

ご希望の方は、ライフサポートセンター
とっとり事務局までご連絡を！

鳥取会場

11月23日水・祝

午前 11:00～午後 4:00

鳥取県立図書館

2階大研修室

(鳥取市尚徳町101)

米子会場

11月27日日

午前 11:00～午後 4:00

鳥取県立武道館

2階会議室

(米子市両三柳 3192-14)

(財) 鳥取県労働者福祉協議会 ライフサポートセンターとっとり事務局

電話 0120-82-5858 / FAX 0857-32-5454 / E-メール soudan5454@shore.ocn.ne.jp

第58回鳥取県勤労者美術展の作品を募集します！

勤労者の皆さんの日ごろの美術創作の成果を発表する場を提供し、生きかいとゆとりのある生活を実現する一助となることを目的とした美術展です。

会期及び会場	表彰	注意事項
2011年12月11日(日)～18日(日) 午前9時から午後5時 ※14日(水)は休館日 鳥取県立夢みなどタワー 1F多目的ホール (境港市竹内団地255-3)	各部門1人1点とし下記の入賞作品を表彰します ★鳥取県知事賞:各部門1点(計4点) ★鳥取県労働者福祉協議会理事長賞:各部門1点(計4点) ★後援団体賞:合計28点(出品数に応じ配分します)	<ul style="list-style-type: none"> 不可抗力による損害については、主催者は賠償の責任を負いません 入賞作品の新聞、雑誌等刊行物への登載権は主催者が所有します

出品資格者	県内在住又は県内事業所に勤務する勤労者(含自営業、農業等)及び退職者・家族。 学校その他において、出品部門を専門的に教え、又は職業にしている方は除きます。			
部門	写 真	洋 画	日本画 (水墨画含む)	書 道
題材	自由(未発表作品に限る)			
応募点数	単2点以内 又は組1点	1部門について2点以内		
規格	<ul style="list-style-type: none"> サイズは4つ切り以上全紙まで 木製パネル張又は額装(100cm×100cm以内) 	<ul style="list-style-type: none"> 額装 30号以内 	<ul style="list-style-type: none"> 額装、軸装、色紙掛 縦額(185cm×81cm以内又は230cm×55cm以内) 横額(185cm×81cm以内) <p>※記文は、申込書の裏に記入し申込書と一緒に事前送付か持参</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ガラス付額装は不可、アクリルは可 規格外の作品は展示しますが、賞の対象となりません 出品料は無料 			

出品申込について

※事前に「出品申込書」での申込が必要です。必要な方は下記事務局までご連絡下さい。

- 申込期間 2011年10月1日(土)～11月30日(水)必着
- 申込方法 事務局まで郵送か持参(持参の場合、土曜日、日曜日、祝日は除きます)



同時開催

ジャンルは問いません。あなたの作品を気軽に出品してみませんか。

『わたしの熱中作品展』

- 第58回鳥取県勤労者美術展会場に『わたしの熱中作品展』コーナーを設けます。作品ジャンルは問いません。あなたの創作の一品を気軽に出品いただき、楽しさをご紹介下さい。
- 出品対象 県内勤労者(家族、退職者含む)による各種作品(ジャンルは問いません)
但し、当美術展との重複出品はご遠慮下さい。
 - 出品申込 当美術展の申込方法と同じです。
 - 作品搬入と返却 当美術展と同じです。



※審査・表彰は行いません

主催及び共催

【主催】財団法人鳥取県労働者福祉協議会 【共催】鳥取県

後 援

鳥取県経営者協会、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、中国労働金庫鳥取県営業本部、全労済鳥取県本部、鳥取県生活協同組合、鳥取医療生活協同組合、連合鳥取、鳥取県教育委員会、境港市、境港市教育委員会、新日本海新聞社

要項等が必要な場合は下記までご連絡下さい

(財)鳥取県労働者福祉協議会 〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL (0857) 27-4188 FAX (0857) 24-8149
E-mail tottori@roufuku.jp <http://tottori.rofuku.net/>

※ホームページから要項をダウンロードできます。



全国の労福協で 全労済業務支援活動 2011年度 を 取り組んでいます。

自動車購入のとき……業者の方に“自賠責は全労済で”とお伝えください。
自動車車検のとき……業者の方に“自賠責は全労済で”とお伝えください。

全労済で白賠責共済 保険 の加入を!!

車購入・車検が近づいたらまず、全労済にご連絡お願いします！

全労済が「自動車販売店・工場」・「組合事務所」・「直接本人様」にて手続きをお手伝いします

そろそろ
車検の
時期だね

組合員ご本人

一般的の販売店・工場で
購入・車検を受ける

ご連絡ください

ご連絡ください

ご連絡ください

■車購入・車検入庫のとき

「全労済の自賠責共済に加入するので、全労済へ連絡して手続きをしてください。」とお伝えください。



■最寄りの全労済支所・ショップ

全労済で証明書を発行し、直接販売店・工場へ証明書を持参します。共済掛金は組合員ご本人より集金させていただきます。



■車検入庫のとき

全労済の
自賠責共済で
お願いします!

とお伝えください。
全労済が直接指定整備工場で手続きします。



自賠責共済
とは……

相手方の車や物・ご自分の車の損害、ご自身のケガなどは補償の対象となりません。また、人身事故でも、自賠責共済(保険)の支払限度額を超える場合もあります。だから、自賠責共済にあわせてマイカーコンセプトへのご加入もお忘れなく！

東部支所 TEL 0857-22-8234
FAX 0857-26-3427

中部共済ショップ TEL 0858-23-2855
FAX 0858-23-2839

西部支所 TEL 0859-22-4133
FAX 0859-34-6072

発行責任者 安田邦夫 編集責任者 小泉俊一 編集委員 奥田康寛・中村勝・岡本藍子・谷口美紀
発行日 二〇一年十月 発行 鳥取市天神町三〇番地五 (財)鳥取県労働者福祉協議会 第272号 TEL (0857)27-4188